

福井県 越前市 白山(しらやま)地区 × 2026東京大学 フィールドスタディー型政策協働プログラム

周囲を山に囲まれた標高150mほどの自然豊かな里地里山。
約50年前にしらやまに飛来した1羽のコウノトリと地域住民との交流が、現在のしらやま地区におけるコウノトリを呼び戻すための有機農業と、生物多様性を核とした環境保全活動へと発展しました。

この取組を全国に、そして世界に紹介するため、国連世界観光機関の国際的なプロジェクトである、「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」認定を目指しています。

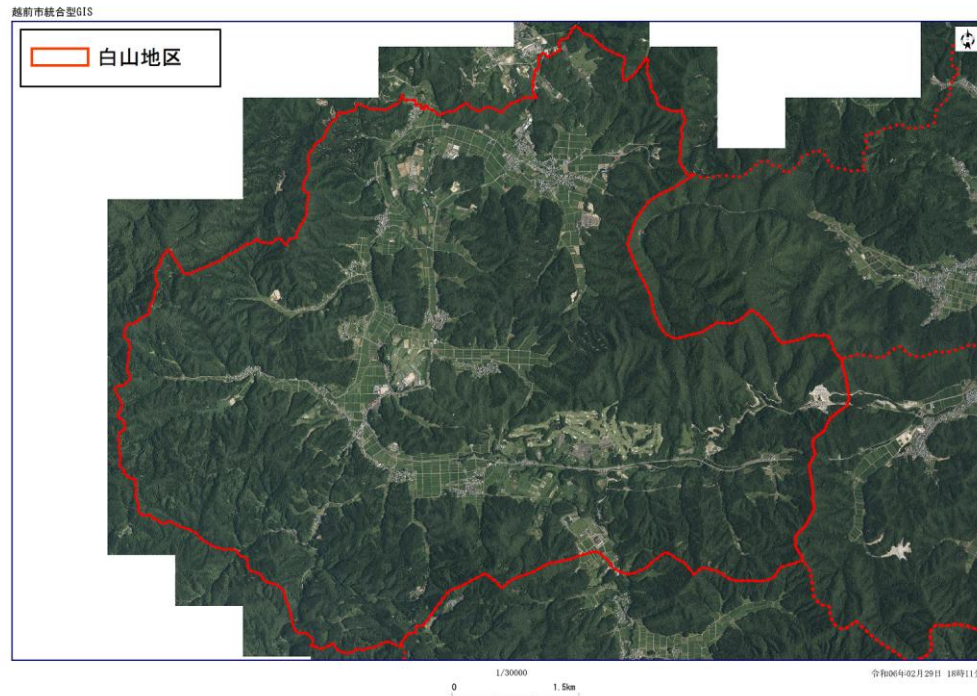
コウノトリと共生する地域





BTV認定を目指す越前市白山地区とは

- ・人口約8万人の福井県越前市の西部に位置する中山間地域
- ・人口約1,350人、約520世帯
- ・地域の面積: 36.17km²
- ・東京から越前たけふ駅まで新幹線で約3時間→車で約30分
- ・米、しらやま西瓜、大根、ワイン用ぶどう、越前しらやま豚など





白山地区の現状とテーマ

現状

- ・人口減少、高齢化
- ・地域コミュニティ持続性への不安

解決に向けた一手としての「BTV」

- ・2024年 国連 Best Tourism Villagesに申請
- ・2024年10月 次点認定を獲得
- ・2025年 アップグレードプログラムを受講中
- ・2026年6月 再申請、10月末の正式認定を目指す

テーマ：BTV認定を契機とした
白山地区の「誇り」の見える化と「発信力」強化





白山地区の課題

課題

- ・地域内で活動する各種団体と地域の連携が十分でない
- ・BTV認定の
 - ・意義
 - ・利点
 - ・将来像が地域住民に十分に共有されていない

「しらやまの魅力」を地域の誇りとして世界に発信する意義を地域の皆さんと分かち合いたい

➡ 学生の皆さんに白山の可能性を“見える化”してほしい





みなさんに取り組んでいただきたいこと

I BTV認定に向けた白山地区の域内機運醸成

- ① BTV認定が地域にもたらす価値を
☞ 住民に「わかりやすく伝える」
- ② 外部からの視点で
☞ 他のBTV認定地域とは異なる、白山地区ならではの魅力の発見・言語化
- ③ 農・自然・暮らしなど白山を伝える
☞ 広報動画・発信コンテンツの制作

II 想定アウトプット

- ・地域住民向けプレゼンテーション
- ・SNS等で活用可能な広報動画→BTV日本連絡協議会等での共有





この取組によるメリット

I 学生のみなさんにとってのメリット

- ・国連が推進するSDGsや文化保護施策について学べる
- ・日本の地域政策や国際的な観光戦略がどのように実装されるかを理解できる
- ・関係省庁や国際機関との連携の仕組みを知ることができる
- ・高齢化・過疎化で存続が危ぶまれる地方地域の現状を現場で知ることができる

II 想定スケジュール

5～6月 オンラインミーティング

白山地区の取組・BTV申請内容などについて共有

8～12月 現地活動(2～3回)

- ・夏祭り、田んぼファンクラブ参加、現地調査
- ・映像撮影、素材収集など

12月～ 広報動画・資料作成

3月 現地報告会

動画お披露目、住民向けプレゼンテーション

